

日本共産党 市議会報告

明るい米子

2014年4月
日本共産党米子市議会議員団／発行
米子市加茂町1-1 電話23-5517(直通)

消費税をそのまま転嫁!!

一般会計予算に反対しました

平成26年度一般会計、下水道などの特別会計の計6会計予算は、この4月から、いずれも使用料や手数料、駐車料金などに消費税5%から8%への増税分をそのまま転嫁し、生活に苦しむ市民に負担をかぶせようとするものです。また、以下の理由で一般会計予算に党議員団は反対しました。

介護

介護では、安心できる公的介護制度を目指し、改善すべきですが、「地域支援活性化事業」と「地域ケア会議立ちあげ準備事業」は、政府の介護保険法と医療法の改悪を一本化した法案を根拠にした予算です。医師が行うべき医療行為を看護師へ、看護師が行うべき行為を介護士へ、介護士が行うべき行為を地域の高齢者の協力へと移行させ、医療や介護の専門性を崩すものです。

子ども・子育て支援 新制度準備事業

新制度では、「認定子ども園」には国の基準が適用されず、公立以外は保育料も施設ごとで決めます。どの子にも必要な保育を保障すべきですが、保護者の収入で子どもの受ける保育に格差が生じることが危惧されています。国の方針が定まらないまま、システム改修に予算を振り向けることは拙速といわなければなりません。

弓浜地域福祉センター建設事業

真に「地域の高齢者の介護予防及び健康づくり・生きがいの拠点施設」としようとするのであれば、まずはしっかりと、介護保険及び高齢者福祉保健計画に位置付けた上で事業を始めるべきです。

なかよし学級

小学低学年の「なかよし学級」については、私立幼稚園・保育園に待機児童対策を委託する予算が組まれています。民間任せでなく、学校の近くの「なかよし学級」に入れるよう、市が直接取り組むべきです。

同和事業

国が同和事業を打ち切って久しいのに、米子市は、今なお同和地区に限った固定資産税の減免、大学等への進学奨励金を支給しています。

住民の世論と運動 で前進面も

○…来年4月からの中学校給食の実施に向け、第二学校給食センターの建設がおこなわれます。

○…「貧困の連鎖を断ち切ろう」と、生活保護と一人親世帯の児童・生徒に対する学習支援が始まります。

学校給食

学校給食については、第二給食センター建設に伴い、今、行われている小学校4校の自校方式を廃止する予算が組まれています。近年、食育の観点から自校方式が見直され、元の自校方式に戻す自治体が増えています。米子市も、見直すべきです。



就学援助

小・中学生への「就学援助」では、国基準は消費税増税分を加味していますが、米子市は、昨年と同額に据え置いたままです。県内他市は学用品費、入学準備金を国基準通り支給していますが、米子市は、半額に抑えています。また、対象者を生活保護費の1.2倍未満の収入としていますが、県内の他市は1.3倍未満としています。せめて他市同様に1.3に引き上げて、対象者を広げるべきです。



議会は原発に対する深刻な不安に応えるべき

「島根原発再稼働に対する慎重な判断を求める陳情」は再び継続審査になりました。市議会は6月に改選のため、実質は不採択です。

この陳情は、福島原発事故は未だ収束せず、「広域住民避難計画」は試行錯誤中であることから、慎重な検討判断を求めるものです。

党議員団はこの深刻な不安に応え審議を尽くすという点から、再稼働に反対、賛成いずれの立場であっても、この陳情を継続ではなく採択し次期市議会に繋げようと訴えました。

日本共産党の市民アンケートの回答では、ほとんどの方が関心ある事柄として「原発」に○をされています。

継続審査に反対したのは、岡村英治、松本松子、石橋佳枝(以上、日本共産党米子市議会議員団)、伊藤ひろえ、国頭靖(以上、よなご会議)、中川健作(市民派)、門脇邦子(ムスカリ)、杉谷第士郎(コモンズ)、藤尾信之(信)の9名です。

陳情する権利を大きく制限 会議規則の改悪は撤回を！

市議会会議規則が改悪され、住民から提出される陳情の取り扱いが、大幅に後退することになります。

従来米子市議会では、陳情も請願と同様に委員会で審議され、最終日の本会議で採択・不採択が決められてきました。今後はその取り扱いを、陳情書の場合は議員への参考資料としての配布文書にとどめ、委員会での審議をするためには「賛同議員」が必要となります。

賛同議員が付かなければ、その陳情はいっさい審議の対象とならない訳ですから、住民の陳情する権利を大きく制限するものとなります。

※会議規則の改悪に対する各議員の態度は、裏面の表を参照してください。

岡村えいじ議員の代表質問



消費税増税の中止を国に求めよ

岡村 消費者物価が上昇し、平均賃金が下落する中での消費税の引き上げは、低所得者や中小零細業者に大打撃を与え、貧困と格差を一層ひどくする。増税の中止を国に求めよ。

市長 消費税増税は、持続可能な社会保障制度の構築と、安定財源の確保のため。

市民の暮らしや地域業者の疲弊に目を閉ざした態度です。

極端に少ない保健師の増員を

岡村 県内他市と比べても、保健師の数は人口割りで半分にも満たない。市民のいのちと健康を守る保健師の増員を。

福祉保健部長 (保健師の) 時間外勤務が多く、有給休暇が取りづらい実態があるが、市民サービスに影響が出ないように努力している。

よりよい保健指導のためには、増員を求めていくことが必要です。

不公正な同和事業の終結を

岡村 基本的に差別は解消したと国も打ち切った同和事業のなかで、米子市は同和地区に限った固定資産税の減免、大学等への進学奨励金の支給を続けている。やめるべき。

市長 部落に対する差別意識は解消していない。固定資産税の減免、進学奨励金については、あり方について考える。



〈関連質問〉松本松子議員 産廃処分場計画の危険性を認識せよ

松本 予定地の近くには、福井水源地をはじめ周辺に水源地が沢山あり、「地球は子どもからの借り物」の言葉どおり、地下水源は次の代、その次の代のために守り、残さねばならない責任がある。「水源地の近くに処分場をつくってはならない」の原則について、市長の認識を問う。

市長 (環境管理) 事業センターが地下水を汚染することはないと説明した。

事業センターの言葉を信じて疑わない姿勢です。次世代への責任が微塵も感じられません。

松本 「環境アセス」をすべて読み、問題を指摘されている地元の方からよく聞き、専門家に委託してでも科学的に検討する考えはないか。

副市長 調査結果の検討は、県の廃棄物審議会で行う。

建設を推進する県の審査では意味がありません。住民の健康に責任を負う自治体のトップとして、「環境アセス」を真剣に検討するべきです。

保育に対する市の責任を果たせ

岡村 新制度で検討されている保育の質の低下を引き起こす資格者ゼロの保育所は作らせるな。高い保育料の軽減を。

市長 (保育所設置について) 国の示す基準に従う。保育料は国基準から(米子市が持ち出しをして) 2億9千万円軽減している。

大切な子どもの保育に対する自治体の責任を放棄し、県内他市に比べて高い保育料の軽減をのちに背を向けた態度です。

学童保育の待機児童対策は市の責任で

岡村 学童保育=なかよし学級の待機児童対策は民間に丸投げしている。せめて利用料の負担軽減を図れ。

市長 利用者はサービス内容を選んで各施設を利用していることから、負担軽減は考えていない。

公設のなかよし学級に入りたくても入れないという実態を無視した態度です。

住宅リフォーム助成制度の導入を

岡村 住宅を改修しやすくし、地域業者の仕事起こしにつながる「住宅リフォーム助成制度」の導入を。

市長 考えていない。

消費税増税で冷え込む地域経済への対策としても、この助成制度の導入は大切です。



〈関連質問〉石橋よしえ議員 いのち・健康を脅かす高い保険料の減免を

石橋議員は、高い国保料の減免制度を広げ、生活困難な市民に伝えるよう、申請減免の要項の「就労困難」という要件を変え、働いても収入が落ち込んだ市内の零細な業者などを助けるべきと質問。

福祉保健部長は収入による一律の減免は行わないが、窓口に来られたら状況により相談に応じますと答弁しました。

また保険料の滞納があると、高額医療費の受療委任払制度は使えません。保険料を滞納せざるを得ない低収入の加入者こそ、最も利用の必要な制度ではないか、分割納付などで払う意志があれば、この制度を利用出来るようにすべきと質問。

福祉保健部長はそれは出来ないことになっていると答弁しました。

石橋議員は受診抑制して手遅れ死も起きている、保険料の取り立て強化よりも、いのち・健康を守れと強く求めました。

陳情・議案に対する議員の態度

- ① 平成26年度一般会計予算について → 可決
- ② 陳情の取り扱い方を従来通りの扱いをするよう求める3件の陳情について → 不採択
- ③ 米子市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について → 可決

○賛成 ×反対		①	②	③
共産党	石橋 佳枝	×	○	×
	岡村 英治	×	○	×
	松本 松子	×	○	×
蒼生会	岩崎 康朗	○	×	○
	尾沢 三夫	○	×	○
	野坂 道明	○	×	○
	松田 正	○	×	○
	湯浅 敏雄	○	×	○
	渡辺 穰爾	○	×	○
	渡辺 照夫	○	×	○
よなご会議	伊藤ひろえ	○	○	×
	稲田 清	○	×	○
	岡本 武士	○	○	○
	国頭 靖	○	○	×
	小林 重喜	○	○	○
	西川 章三	○	○	×
	矢倉 強	○	○	○
公明党	笠谷 悦子	○	×	○
	原 紀子	○	×	○
	安木 達哉	○	×	—
	安田 篤	○	×	○
一院ク	遠藤 通	○	×	○
市民派	中川 健作	○	○	×
仁	中田 利幸	○	×	○
	三嶋 秀文	○	×	○
ムスカリ	門脇 邦子	○	○	×
コモンズ	杉谷第士郎	○	×	○
虹	山川 智帆	○	○	×
新政会	松井 義夫	議長		
信	藤尾 信之	○	○	○



お気軽に
相談を

仕事・
くらしの
悩み

日本共産党生活相談所

電話・F a x 3 2 - 5 5 9 0

米子市富士見町136

岡村えいじ TEL 29-3475

ブログ <http://jcpy.sakura.ne.jp/o/>

松本 松子 TEL 56-2504

ブログ <http://jcpy.sakura.ne.jp/m/>

石橋よしえ TEL 28-7598

ブログ <http://jcpy.sakura.ne.jp/i/>